



福島南ロータリークラブ

基本方針: 原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：斎藤信男 斎藤善重 丹治洋子 横山りつ子

第2回例会

平成24年7月11日(水) サンパレス福島

■会員/66名 ■出席/45名 ■出席率/68.18% ■メイクアップ/21名 ■修正/66名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 ガバナー補佐クラブ訪問挨拶
柳沼克己 東北第一分区ガバナー補佐
- 4 ロータリーの友 読みどころ
伊藤弘子クラブ広報・雑誌委員会委員長
- 5 国際ロータリー第2530地区
伊藤 浩 ガバナー公式訪問
ガバナースピーチ
- 6 閉会点鐘

会員の広場

◆心に残ることば◆ 幹事 佐久間 功
「心ばかり」何と心に響く言葉でしょう。贈る人の気持ちが短い言葉に込められています。昔私の人生の恩師に教わった、お世話になった相手への感謝を込めた言葉です。「ありがとう」「心ばかり」良い日本語です。

今日の一面記事

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の影響で中断していた本県のヒラメ稚魚の放流が10日、相馬市磯部沖で再開された。(福島民報転載)

◆会長あいさつ◆

紺野 仁昭 会長



拍手でガバナーをお迎え

本日は伊藤浩ガバナーをお迎えしての例会となりました。伊藤ガバナーには早朝より福島南ロータリークラブをご訪問いただき、ありがとうございます。また、9時からの会長・幹事会、10時からのクラブ協議会におきましては、今年度のクラブの在り方・ロータリー奉仕活動について、ご指導をいただきました。重ねて御礼申し上げます。後ほど伊藤ガバナー並びに柳沼ガバナー補佐よりスピーチをいただくことになっております。よろしくお願いいたします。

さて、去る7月7日に「大声杯」リトルリーグ野球大会を開催する予定でしたが、あいにくの雨で順延となり、翌日8日に開催できますことを願っていたところ、雨はどうにか上がったものの、グラウンドコンディションが悪く、中止となってしまいました。この日を心待ちにしていた選手や、第15回大会

という節目の大会の準備を進めてまいりました役員及び実行委員会の方々にとって大変残念な結果となりました。

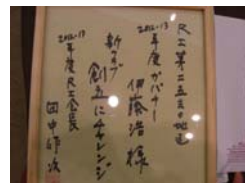
ところが、福島リトルリーグ関係者各位及び吉田和義社会奉仕委員長、高橋勇雄新世代奉仕委員長のご努力下、大変急ではありますが、7月16日の海の日に開催できる運びとなりました。子供達のために尽力して下さいました皆様の温かい気持ちに感謝申し上げますと共に、会員の皆様にできるだけ多くの応援出席をお願いいたします。

最後に、先日7月4日の臨時理事会におきまして、2013-2014年度第2530地区 東北第一分区ガバナー補佐予定者として当クラブの野地利雄会員を推薦する事が決定しました。早急に、柳沼ガバナー補佐のほうへ書類を提出させていただきましたので、会員の皆様にご報告いたします。

以上で会長挨拶とさせていただきます。



右から伊藤ガバナー・紺野会長・佐久間幹事



◆伊藤 浩ガバナー公式訪問クラブ協議会◆



例会に先立ち、午前9時から会長・幹事会、10時15分から各委員会を交えたクラブ協議会が開催され、伊藤 浩ガバナーから示唆に富んだご指導を賜りました。

クラブ協議会の各委員会発表は、伊藤 浩ガバナーの次のような目の覚めるようなご発言から始まりました。「事前に福島南クラブの活動計画は全部見えています。したがって、書いてある文章をそのまま読んだりしないで、あくまでもご自分の言葉でその思いを発表してください。」・・・発表予定者の多くは一瞬固まったような表情になりましたが、結果的に各委員会活動の思いを素直に伝えられた素晴らしい協議会になったような気がしました。

◆ガバナー補佐クラブ訪問挨拶◆

東北第一分区 柳沼 克己 ガバナー補佐



2012-2013年度R I 第2530地区第一分区ガバナー補佐を仰せつかりました二本松RCの柳沼克己と申します。職業分類は金属加工のプレス製品製造業です。7月5日から13日まで伊藤 浩

ガバナーとともに各クラブを訪問させていただき最終の13日にはガバナー歓迎晩餐会を開催していただくことになりました。ホストになっていただく福島南クラブに感謝いたします。今日が第1回目のガバナー補佐としての訪問になるわけですが、年度内には何度か訪問させていただくこととなりますので宜しくお願いいたします。

◆ロータリーの友 読みどころ◆

クラブ広報・雑誌委員会 伊藤 弘子 委員長



一年間ロータリーの友の見どころ・読みどころを分かりやすく紹介させていただきます。

横書きのP22には、新ガバナーの横顔ということで第2530地区の伊藤 浩ガバナーが、気配りと博学の人ということで紹介されています。

◆ガバナースピーチ◆

R I 第2530地区 伊藤 浩 ガバナー



本日は親愛なる福島南ロータリークラブの皆さんとこの例会でお会いできることを大変楽しみにしておりました。

今年度は、福島南クラブの5名の地区委員の方々が私を支えてくれることになっております。また、今年度は、

私ども日本人として大変嬉しい3人目の田中作次RI会長が誕生しました。

本年7月5日に国際基督教大学に招かれたときに、田中作次RI会長にお目にかかる機会がありまして、そのとき、新クラブ結成へのチャレンジや会員増強についてのお話をいただき「はい分かりました」と二つ返事でお受けしましたので、その命の67分の1のプレッシャーを掛けて紺野会長に額を親展したところでした。

先日、縁のある宮崎の第2730地区の地区大会に参加した後に、長嶺直前ガバナーと山下ガバナーから電話が入り、「伊藤さんは次の年度に何をしたいんだ」ということで、「私は子供たちが宝なんだ！ぜひ子供に対する支援をしていきたいと思うんだ」とお話をしたところ「よし分かった」ということで福島川の川内村の避難している子供たちを鹿児島に招待し、思いっきり遊ばせるだけでなく、戦時中の片道切符で戦死していった特攻隊の博物館を見せる企画を考えてくれました。さらに、福島県への支援は一年だけではできないということで、来年は宮崎でやるので次のエレクトに言ってくれという話になりました。

今年度は「ロータリー精神を实践しよう」という地区テーマを掲げましたが、私の尊敬しているロータリー財団の友と言われるアーチ・クラフが数十年前に、これからのロータリーがどうなるかは誰も分からない。しかし、現在の我々ロータリアンが何を考え、何を実行するかによってロータリーの将来は決まるだろうとおっしゃっていただきました。

結びに、当福島南ロータリークラブが福島県の中心となって益々発展されますことを祈念しまして私のスピーチといたします。

※ スピーチの内容を抜粋して掲載しているため発言の表現を一部変更させていただきましたのでご了承ください。

◆◆◆ 今週のお客様 ◆◆◆

R I 第2530地区	伊藤 浩	ガバナー
同	初瀬 照夫	副幹事
東北第一分区	柳沼 克己	ガバナー補佐
東北第一分区	富田 恵子	幹事

～ 一週一言 ～ 三日書を読まざれば

本当の学問というのは、血となって身体中を循環し、人体・人格をつくる。したがって、それを怠れば自ら面相・言語も卑しくなってくる。 安岡 正篤の一日一言より

今月・来月のプログラム

- 7月18日(水) クラブ協議会
活動計画発表①第2回理事会
- 7月25日(水) クラブ協議会・活動計画発表②
- 8月1日(水) 家族納涼パーティー
- 8月8日(水) 会員スピーチ 誕生祝い
ロータリーの友読みどころ

一編集後記一

折角のガバナースピーチも紙幅の関係で全文を紹介できないのが残念です。やはり、例会に出席して直接お話を聞くのが一番ですね。(松崎)